

議会が「もっと」近くなる 市民の声

西部学校給食センター
東部学校給食センター

「西部学校給食センター」と「東部学校給食センター」取材しました。栄養士さん・調理師さんから、燕市合併20周年おめでとう給食や日々の業務などのお話を聞きました。



にんじんをツバメや桜の形に切ったり、工夫が見られます。美味しそう!



燕市合併20周年おめでとう給食では子供が地元特産を理解して調理法や彩り、味と献立全体のバランスまで考えて提案しました。

栄養教諭

石井 礼香さん(西部学校給食センター)

子供たちの郷土愛あふれる応募献立に驚きました。燕市は地元産使用率が高く、若手生産者の活躍にも期待しています。



栄養教諭

細海 さくらさん(西部学校給食センター)

調理工程が多くて苦労しましたが、20周年記念メニューに携わることができて、調理師としてとても光栄に思っています。

栄養教諭

小嶋 智子さん(東部学校給食センター)

時には学校を訪問し、一緒に食べて食育の指導もしています。子供たちが給食を食べたときの反応が良いと、とてもやりがいを感じます。



栄養教諭

丸山 朝美さん(東部学校給食センター)

鶏肉のレモンあえとトマミソカレー豚丼が人気。食器は燕製品です。郷土に誇りを持ち、食への感謝の気持ちを持つ子に育ててほしいです。

栄養教諭

尾崎 明希子さん(東部学校給食センター)

食缶が空っぽで返ってくると、美味しく食べてくれたんだとうれしくなります。調理員は人とつながっているし、感謝を感じることができる仕事です。



栄養教諭

土田 沙也香さん(東部学校給食センター)

アレルギーのある子供たちもいます。食材に配慮しながら常に安心・安全を心がけて、毎日子供たちから喜んでもらえるように取り組んでいます。

From editor

編・集・を・終・え・て

桜の花が咲く季節が大好きです。春は入園、入学、新社会人と、フレッシュな姿も見かけ、気持ちも新たにさせてもらえます。ノートブックの編集も、整合性に間違いがないように作業のフィルターを一枚加えました。作り手としても気持ち新たにお届けします。(長井由喜雄)



議会にみんなの声を! 1分アンケート実施中。
たくさんの声、お待ちしております!



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。
UD ユニバーサルデザインフォント

Cover story

今・号・の・表・紙

家の庭でアマガエルが「ケロケロケロ」と合唱する季節です。そして、それが合図のように梅雨の季節に入ります。しかし、あちこちで傘の花が開く季節でもあるんです…ようは楽しみ方の問題ですね。



議会だよりは年4回(2月1日・5月1日・8月1日・11月1日)発行。各戸配布のほか、議会ホームページやスマートフォンアプリ「カタログポケット」からもご覧いただけます。



「カタログポケット」のダウンロードはこちらから